

公益財団法人日本アレルギー協会関東支部

〒102-0074  
東京都千代田区九段南 4-5-11  
富士ビル4階  
TEL 03-3222-3437  
FAX 03-3222-3438

ホームページ  
[http://www.jaanet.org/aboutus/4\\_index\\_msg.html](http://www.jaanet.org/aboutus/4_index_msg.html)

関 東 支 部

だ よ り

第 15 号 (2014 年 1 月発行)

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。  
昨年は内外ともにあわただしい一年ではありましたが、会員の皆様方におかれましては益々ご活躍のことと存じます。

さて、当関東支部では、昨年も会員皆様のご協力で例年通り、アレルギー週間での市民講座の開催、研究支援、患者団体支援等の活動をおこなうことができました。本年度も引き続き、例年通り各種活動をおこなう予定ですので、よろしくお願いたします。

また、昨年、当協会正会員の募集をおこないましたところ、関東支部地域の先生方より 50 人の新規加入（復帰 3 人を含む）をいただき、当支部の会員は 363 名（正会員 328 人、一般会員 35 人）になりました。ご加入まことにありがとうございました。

昨年 10 月をめどに各地区で評議員（合計 28 名）の選出を進めていただいておりますが、一部で進んでいなかったことと、本年本部の関東支部選出理事・評議員計 8 名（関東支部評議員を兼ねる）の選挙があるため、関東支部評議員の最終選出を本年度定例関東支部評議員会後といたしました。

当関東支部だより**第 15 号のトピックス**として佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野教授 出原 賢治先生に**「喘息におけるペリオスチン測定の意義」**を執筆していただきました。  
また例年通り、1～7月の各種アレルギー関連行事予定も掲載いたしました。

東日本大震災後、一般社団法人日本アレルギー学会では**災害時の対応、支援活動に関するワーキンググループ**が立ち上げられ、地方支部を持つ日本アレルギー協会に協力を求められ、理事長、

支部長が会議に出席し、最終案が決定し、昨年秋の日本アレルギー学会代議員会で承認されています。その重要性に鑑み、日本アレルギー学会の許可を得て日本アレルギー学会 災害時の対応、支援活動に関するWG「災害時のアレルギー性疾患患者への対応」を次号に転載の予定です。近々、日本アレルギー学会より災害時拠点病院の指定があることになっています。

本年も当支部を含め日本アレルギー協会の活動のため会員皆様のご協力をよろしく願います。では皆様、本年もお元気でご活躍ください。 関東支部長 伊藤 幸治

2. 本号の目次	頁
1. 新年ご挨拶	支部長 1
2. 本号の目次	2
3. 関東支部評議員会報告	3
4. アレルギー週間講演会等について	3
5. トピックス 「喘息におけるペリオスチン測定の意義」	出原 賢治 4~6
6. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会 (当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2014年1月~7月)	7~8
7. 患者団体講演会、集会(同)	9~11
8. 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会(日本アレルギー学会と同関連学会)(2014年1~7月)	12
9. 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会(当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2014年1月~7月)	13~15
10. 公益財団法人日本アレルギー協会理事、監事、評議員	15
11. 関東支部評議員会議事録(平成25年7月31日)(付、平成25年度収支予算書)	16~17
12. 平成25年度関東支部評議員県(地区)別業務分担表	18
13. 平成25年度関東支部評議員業務分担表	18

### 3. 日本アレルギー協会 関東支部評議員会報告

日本アレルギー協会関東支部評議員会は平成 25 年 7 月 31 日に東京會館にて開催されました。種々審議の結果、平成 25 年度も例年通りの研究助成、アレルギー週間での一般向け講演会を推進することが承認されました。また評議員の選挙についても審議されました。その詳細は本紙 1 1. 平成 25 年度関東支部評議員会議事録(16~17 頁)をご覧ください。

尚、支部長を除く関東支部評議員リストは本紙第 17 頁の 1 2. 平成 25 年度関東支部評議員県(地区)別業務分担表の啓発活動委員会委員(アレルギー週間地区代表委員)の欄をご覧ください。

### 4. アレルギー週間講演会等について

平成 25 年 6 月 7 日に公益財団法人日本アレルギー協会理事会が開催され、平成 26 年 2 月 17 日(月)~23 日(日)が 2014 アレルギー週間(テーマ「アレルギーの克服に向けて」)と定められました。これに関連して、一般向け、医師向け、および賛助会員向け講演会等も開催されます。一般向けの講演会として「第 20 回アレルギー週間中央講演会~アレルギー疾患の新しい治療~」が平成 26 年 2 月 23 日(日) 13:00~16:30 に有楽町朝日ホールで開催されます。

詳細は第 7 頁をご覧ください。

また、関東支部地域の一般向け講演会あるいは相談会が東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川各県で開催が予定されています。詳細は第 7~8 頁をご覧ください。

また患者会主催の行事も予定されています。詳細は第 9~11 頁をご参照ください。

## 5. トピックス

### 喘息におけるペリオスチン測定の意義

佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野

出原 賢治

現在、IL-4、IL-5、IL-13 などの Th2 型サイトカインに対する阻害剤が、気管支喘息に対する治療薬として開発されている。これらは、ステロイド剤のように免疫反応を広く阻害するのではなく、標的となっているサイトカインをピンポイントで阻害するため、副作用の少ない薬剤として期待されている。しかし、これらの治療薬にも課題が存在する。その一つは、阻害薬の多くが生物製剤であるため、現在すでに市販されている抗 IgE 抗体（オマリズマブ、商品名：ゾレア）と同様に、価格が高くなると予測されることである。もう一つは、現在では喘息は一つの疾患ではなく、異なる病因により構成される症候群であると認識されており、そのため、喘息を構成する各グループの間で分子標的薬に対する治療効果が異なっていると考えられることである。こうしたことから、喘息を病因ごとにグループ化し、分子標的薬が有効なグループのみを対象として薬剤を投与することが、これからの喘息治療にとって重要であると考えられている。多様なグループにより構成される疾患をグループ化し、グループごとに治療方針を考えていく医療は、「層別化医療」と呼ばれている。また、疾患をグループ化するための診断薬は、「コンパニオン診断薬」と呼ばれており、層別化医療の実現のために必須だと考えられている。現在、気管支喘息の層別化医療の実現に向けて、ペリオスチンがコンパニオン診断薬の標的として注目されている。本稿では、その背景と現況について解説したい。

#### 1. 喘息におけるペリオスチン関与の発見

IL-13 が気管支喘息の発症において中心的な役割を果たしていることが、1990 年代後半にモデルマウスを用いて示された。このことが、現在の IL-13 に対する阻害剤を喘息に対する治療薬として開発する試みにつながっている。私たちの研究室では、IL-13 がどのようにして喘息を起こすのかを明らかにするために、気道上皮細胞において IL-13 により誘導される遺伝子を、網羅的

に DNA マイクロアレイの技術を使って同定した。数多くの遺伝子が同定された中に、ペリオスチンも含まれていた。私たちは、喘息におけるペリオスチンの関与を解析した結果、ペリオスチンは喘息の組織学的特徴の一つである基底膜肥厚に寄与していることを明らかにした (Takayama *et al.*, *J Allergy Clin Immunol*, 2006)。これが喘息におけるペリオスチンの関与を示した最初の報告となった。

その後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校の Fahy らは、Th2 型サイトカインの発現をもとに、喘息を「Th2 型喘息」と「非 Th2 型喘息」に分類した。前者は成人喘息の 50-70%を占めると考えられている。Th2 型喘息は、非 Th2 型喘息に比べて好酸球性炎症、気道過敏性、基底膜肥厚が強いという特徴を持っていた。この両者の特徴をさらに解析した結果、ペリオスチンは Th2 型喘息患者の気道組織においてのみ発現している特徴的な遺伝子の一つであることを明らかにした (Woodruff *et al.*, *Am J Respir Crit Care Med*, 2009)。これらのことが、ペリオスチンは Th2 型喘息のバイオマーカーであることを示す基盤となった。

## 2. 喘息に対するコンパニオン診断薬へのペリオスチンの応用

前述したように、現在、IL-13 に対するいくつかの阻害剤が抗喘息薬として開発されている。そうした試みの中で、ロシュ/ジェネンテック社は、抗 IL-13 抗体 (レブリキズマブ) をステロイド抵抗性喘息患者に投与した結果を発表した (Corren *et al.*, *N Engl J Med*, 2011)。この中で、抗 IL-13 抗体は血清ペリオスチン値が高い患者に対して有効性を示すが、血清ペリオスチン値が低い患者に対しては有効性を示さないことを示した。ペリオスチンは IL-13 の誘導産物であることから、血清ペリオスチン値は体内の IL-13 産生を反映していると推測され、血清ペリオスチン値による抗 IL-13 抗体の効果判定は、妥当な結果だと考えられた。IL-13 自体は半減期も短く、血液中に微量でしか存在しないため、その誘導産物であるペリオスチンの方がバイオマーカーとして有用である。その後、現在喘息に対する唯一の市販されている分子標的薬である抗 IgE 抗体 (オマリズマブ、ゾレア) の効果判定においても、血清ペリオスチン値の測定が有用であることが示された (Hanania *et al.*, *Am J Respir Crit Care Med*, 2013)。これらより、ペリオスチン測定キットは、喘息に対する分子標的薬のコンパニオン診断薬となると期待されている。

### 3. 喘息患者の診療におけるペリオスチン測定の有用性

私たちが独自にペリオスチン測定キットを開発し、喘息患者の診療における有用性を検討している。京都大学の松本久子先生らとの共同研究により、成人喘息患者の中で、高齢発症で、かつ好酸球優位のタイプにおいて血清ペリオスチン値が高くなる傾向を示すことを明らかにした (Kanemitsu *et al.*, *J Allergy Clin Immunol*, 2013)。さらに、この好酸球優位の喘息グループの中で、血清ペリオスチン値が高くなるほど吸入ステロイド剤が効きにくい傾向を示すことも明らかにした。一方、佐賀大学の高橋浩一郎先生らとの共同研究により、吸入ステロイド剤によりコントロール良好な患者においても、血清ペリオスチン値が高ければ吸入ステロイド減量による症状の増悪が起きやすくなることも明らかにした (Kato *et al.*, *Biomarker Insights*, 2013)。このように、ペリオスチン測定は、分子標的薬の効果判定のみならず、吸入ステロイド剤の使用においても有用な情報を与えてくれると期待されている。

喘息患者におけるペリオスチン測定の意義について、これまでの背景と現況について説明を行った。喘息においては、肺機能検査、気道過敏性、呼気一酸化窒素など生理的検査項目が主にバイオマーカーとして用いられている。一方で、血液検査項目としてはわずかに好酸球数やIgEなどがあげられるだけであり、また、これらの項目も病勢の評価や治療薬効果の判定には有用ではない。このため、簡便に測定でき、測定間でばらつきの少ない血清ペリオスチンは、喘息の領域における有望なバイオマーカーとして期待されている。今後さらにその臨床的意義を明確にするとともに、実際に測定キットを実用化することが重要な課題となっている。

6. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会（当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2014年1月～7月） \* 一般向け。他は医師向け

日時	会名	会場	主催団体、連絡先
2月23日(日) 13:00～16:30 *	第20回アレルギー週間中央講演会～アレルギー疾患の新しい治療～ <u>要申込</u>  秋山一男(総合司会) 講演1 宇理須厚雄(食物アレルギーの新しい治療指針) 講演2 大田健(気管支喘息の吸入療法) 講演3 大久保公裕(舌下免疫療法) 講演4 佐伯秀久(アトピー性皮膚炎の新しい治療)	有楽町朝日ホール 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11階 TEL 03-3284-0131	日本アレルギー協会 運営事務局:(株)協和企画内 アレルギー週間中央講演会事務局 〒105-0004 東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル1号館3階 TEL 03-3574-0496(平日 10:00～18:00) 参加希望の方は①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤性別⑥電話番号をご記入の上、郵便はがき、FAX、メールでお申込下さい。尚、応募者多数の場合は抽選を行います。当選者は聴講券の発送をもって代えさせていただきます。 締め切り:2月12日(水)必着 応募先:FAX 03-3575-1695 メール:event@kk-kyowa.co.jp はがき:〒105-0004 東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル1号館3F (株)協和企画内 アレルギー週間中央講演会事務局
1月26日(日) 9:30～17:30	神奈川地区第14回食物アレルギー研究会	昭和大学上條講堂	食物アレルギー研究会事務局: 林/杉崎 〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1 国立病院機構相模原病院臨床研究センター TEL 042-742-8311(代表) 会長:河野陽一(独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院)
2月1日(土) 13:00～15:30 *	埼玉地区アレルギー週間公開講座2014 永田真(司会) 講演1 上条篤(スギ花粉症) 講演2 小山信一郎(気管支喘息) 講演3 戸塚隆太(食物アレルギー)	さいたま共済会館 501+502 会議室	日本アレルギー協会(埼玉地区責任者 永田真) 問合せ先: 0120-562-904(平日 9:00～17:45)
2月8日(土) 16:00～19:00	神奈川地区第16回神奈川吸入療法研究会	ローズホテル横浜	代表世話人:(独)国立病院機構相模原病院〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1 TEL 042-742-8311 秋山一男(谷口正実) 会長:金子猛(横浜市立大学附属市民総合医療センター)
2月9日(日) 14:00～16:00 *	山梨アレルギー市民フォーラム2014 講演1 松岡伴和(花粉症について) 講演2 杉山剛(小児気管支喘息について) 講演3 塚本克彦(アトピー性皮膚炎について) 講演4 池田久剛(食物アレルギーについて)	山梨大学医学部(玉穂キャンパス)臨床小講堂	山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局 TEL 055-273-6769(平日 10:00～15:00)

2月9日(日) 14:00～16:00 *	東京城北・多摩地区市民公開講座「アレルギーの克服に向けて」 長瀬洋之(司会) 講演1 14:00～14:40 山口正雄 (成人ぜん息の最新治療) 講演2 14:40～15:20 小林茂俊 (食物アレルギーの現状と対応法) 質疑応答 15:20～16:00	帝京大学本部棟4階会議室1	日本アレルギー協会(東京城北・多摩地区責任者 大田健)
2月16日(日) 13:45～16:15 *	千葉中央地区アレルギー週間市民公開講座と相談会「アレルギー疾患の克服に向けて」	千葉市文化センター5階セミナー室	国立病院機構下志津病院 TEL/FAX 043-424-3515 西牟田敏之
2月18日(火) 19:00～21:00	神奈川地区第5回横浜環境アレルギー研究会	ホテルプラム	横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3-12-1TEL 045-628-6381 会長: 中村陽一
2月23日(日) 14:00～16:00 *	神奈川地区第20回アレルギー週間アレルギー患者相談会	横浜そごう9階市民フロア	(独)国立病院機構相模原病院臨床研究センター気付 日本アレルギー協会アレルギー週間神奈川実行委員会 〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台18-1 TEL 042-742-9721・FAX 042-742-7990 代表 秋山一男(谷口正実)
3月1日(土) 15:00～17:00 *	信州アレルギーフォーラム 花岡正幸(開会の言葉) 講演1 15:10～15:40 藤本圭作 (おとなの喘息管理と最新治療) 講演2 15:40～16:10 安尾将法 (アレルギー性鼻炎[花粉症]とぜんそく) 講演3 16:10～16:40 小林元法 (こどもの喘息の特徴) 4 16:40～17:00 質問の時間 藤本圭作(閉会の言葉)	信州大学医学部附属病院 外来棟4階第一会議室	日本アレルギー協会(長野地区責任者 藤本圭作)
3月2日(日) 開場 12:00 講演 13:00～15:20 *	千葉東部地区アレルギー週間市民公開講座「アレルギー・アトピーの克服に向けて」	東邦大学医療センター佐倉病院7階講堂	総合病院国保旭中央病院広報室 日本アレルギー協会千葉ブロック東部地区市民公開講座事務局 TEL/FAX 0479-63-8111



## 7. 患者団体講演会、集会(当関東支部地域:東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、

2014年1月～7月)

会員以外の方でも自由に参加できます

日 時	会 名	会 場	主催団体、連絡先
1月18日(土) 13:30～16:30	「食物アレルギー児を地域で支える研修会」 伯井正美先生(大阪狭山市立第一小学校校長) 赤澤 晃先生(東京都立小児総合医療センターアレルギー科部長) 定員500名 (事前申込:必要)	横浜市瀬谷公会堂 (相鉄線三ツ境駅徒歩10分)	NPO 法人 アレルギーを考える母の会 <a href="http://www.hahanokai.org/">http://www.hahanokai.org/</a> FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp
1月19日(日) 14:00～17:00	「身近なところから喘息やCOPDを考える～平成25年度熟練患者認定式及び新年特別講演会～」(事前申込:必要) ※バザーも同時開催しています	泉ガーデンコンファレンスルーム1+2 地下鉄南北線「六本木一丁目」駅改札直結 日比谷線「神谷町」駅より徒歩6分	NPO 法人 環境汚染等から呼吸器病患者を守る会(通称:エパレク)事務局 <a href="http://eparec.org/">http://eparec.org/</a> E-mail: eparec@nifty.com FAX 03-6272-9414
1月21日(火) 14:00～16:00	「食物アレルギー・エピペン対応研修会」 渡辺博子先生(国立病院機構神奈川病院小児アレルギー科医長) 定員20名 (事前申込:必要)	横須賀市立船越保育園 (京急田浦駅下車)	NPO 法人 アレルギーを考える母の会 <a href="http://www.hahanokai.org/">http://www.hahanokai.org/</a> FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp
2月1日(土) 14:00～16:00	「食物アレルギー・エピペン対応研修会」 高増哲也先生(神奈川県立こども医療センターアレルギー科医長) 定員20名 (事前申込:必要)	社会福祉法人 大庭保育園 (JR 東海道線辻堂駅下車)	NPO 法人 アレルギーを考える母の会 <a href="http://www.hahanokai.org/">http://www.hahanokai.org/</a> FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp
2月8日(土) 13:30～16:30	第11回ミニ講習会&懇親会 (事前申込:必要) 「ぜんそくとCOPDの類似点・相違点について」 押方智也子先生 サポート:医療関係者、資料配布あり 定員25名	ポーノ相模大野 SouthMall3F ユニコムプラザさがみはら ミーティングルーム4 (小田急線相模大野駅北口5分)	NPO 法人 相模原アレルギーの会 <a href="http://www.sagamihara-allergy.or.jp">http://www.sagamihara-allergy.or.jp</a> E-mail:allergy-kai@sagamihara-allergy.or.jp 事務所 TEL 042-745-8801
2月11日(火・祝日) 13:00～16:00	「アレルギーの研究最前線 最新の食物アレルギーQ&A」 齋藤博久先生(国立成育医療研究センター研究所副研究所長) 宇理須厚雄先生(藤田保健衛生大学医学部教授) 今井孝成先生(昭和大学小児科アレルギー専門科講師)	青山こどもの城: <a href="http://www.kodomono-shiro.or.jp">http://www.kodomono-shiro.or.jp</a> 渋谷区/表参道駅下車すぐ	NPO 法人 アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」 <a href="http://www.allergypot.net">http://www.allergypot.net</a> E-mail:info@allergypot.net TEL 090-4728-5421

<p>2月15日(土) ～16日(日) 13:00～16:00 15日(土)ぜんそく 16日(日)アトピー 性皮膚炎</p>	<p>第20回アレルギー週間協賛行事:ぜんそく・アトピー性皮膚炎実践講座及び患者交流会 ●ぜんそく部門 「新発売された吸入ステロイドの特徴と使い方」講師 薬剤師:前田光平様 ●アトピー性皮膚炎部門 パネルディスカッション「アトピー性皮膚炎との向き合い方」当会スタッフ (事前申込:必要)</p>	<p>認定NPO法人日本アレルギー友の会事務所(都営新宿線・半蔵門線住吉駅、JR 錦糸町駅より都バス「住吉駅前」下車徒歩3分)</p>	<p>認定NPO法人 日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00～16:00) FAX 03-3634-0850 E-mail:j-allergy@nifty.com http://www.allergy.gr.jp</p>
<p>2月16日(日) 13:00～15:00</p>	<p>花粉症市民講座 テーマ「日常生活における花粉対策」 (募集200名、聴講無料) 基調講演 「知っておきたい最新花粉症治療情報」 講師 大久保公裕先生(NPO法人 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会 理事長) 司会 宮本昭正先生(公益財団法人 日本アレルギー協会理事長) パネルトーク「知って良かった日常生活における花粉症対策」 村山貢司先生(一般財団法人 気象業務支援センター 気象予報士) 竹内富貴子先生(カロニックダイエットスタジオ 管理栄養士) 大久保公裕先生</p>	<p>砂防会館 別館(本館隣)1階 シェーンバツハ・サポー大会議室「利根」 東京都千代田区平河町2-7-5 (本館) TEL 03-3261-8386(代表)</p>	<p>NPO法人 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会 第1事務局 〒113-0022 東京都文京区千駄木一丁目1-5 日本医科大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科内 TEL 03-5814-6213 FAX 03-5685-0830 第2事務局 〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町一丁目396番地 日本医科大学武蔵小杉病院耳鼻咽喉科内 TEL 044-733-5181(ext.2251) FAX 044-711-8565</p>
<p>2月22日(土) 9:00～11:00</p>	<p>「食物アレルギー・エピベン対応研修会」 高増哲也先生(神奈川県立こども医療センターアレルギー科医長) 定員38名 (事前申込:必要)</p>	<p>保育園アワーキッズ鎌倉・深沢幼稚園 (湘南モノレール湘南深沢駅徒歩5分)</p>	<p>NPO法人 アレルギーを考える母の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp</p>
<p>3月1日(土) 10:00～15:00</p>	<p>第4回 食物アレルギーを持つ患者と家族のために 「お祝いの食卓へ誕生日やお節句のご馳走メニューとデザート作りへ」 第1部 講習会(食物アレルギーと上手につき合うコツ) 第2部 調理実習 第3部 家族と一緒に試食会 第4部 懇談会 調理指導・講師 林 典子先生 定員24名 (事前申込:必要)保育アリ</p>	<p>相模原市緑区合同庁舎4F調理実習室 (JR橋本駅より徒歩10分) 緑区西橋本5-3-21</p>	<p>共催:NPO法人 相模原アレルギーの会・相模原市 申し込み:NPO法人 相模原アレルギーの会 http://www.sagamihara-allergy.or.jp E-mail:allergy-kai@sagamihara-allergy.or.jp 事務所 TEL 042-745-8801 FAX 042-705-9690</p>
<p>3月29日(土) 10:00～16:00</p>	<p>第8回「アナフィラキシー親子のための懇談会」 赤澤晃先生(東京都立小児総合医療センターアレルギー科部長)、今井孝成先生(昭和大学小児科アレルギー専門科講師) ・要予約50名、資料代等実費500円 (事前申込:必要)</p>	<p>横浜市鶴見公会堂 (JR・京急 鶴見駅下車徒歩すぐ)</p>	<p>NPO法人 アレルギーを考える母の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp</p>

5月18日(日) 12:30～16:00	ぜんそく・アトピー性皮膚炎の講演会とQ&A 《ぜんそく・アトピー性皮膚炎最新治療》 第一部講師 喘息部門:国立病院機構相模原病院副臨床 研究センター長 長谷川真紀先生 アトピー性皮膚炎部門:埼玉医科大学皮膚 科教授 中村晃一郎先生 第二部講師を囲んでQ&A 「Q&A司会」:坂本芳雄先生(関東中央病院 呼吸器内科部長) 江藤隆史先生(東京通信病院皮膚科部長) (事前申込:必要)	フォーラムミカサ・エコ(東京都 千代田区) TEL 03-3291-1395 JR 神田駅下車徒歩5分	認定 NPO 法人 日本アレルギー 友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00～16:00) FAX 03-3634-0850 E-mail:j-allergy@nifty.com http://www.allergy.gr.jp/
6月1日(日) 13:00～15:00	第35回 講演会 (事前申込:必要) タイトル「未定」 (決まりましたら HP でお知らせします。)	ポーノ相模大野 SouthMall3F ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2 (小田急線 相模大野駅 北口 5分)	NPO 法人 相模原アレルギーの 会 申し込み:NPO 法人 相模原ア レルギーの会 http://www.sagamihara-allergy.or. jp E-mail:allergy-kai@sagamihara- allergy.or.jp 事務所 TEL 042-745-8801 FAX 042-705-9690
毎週火・土曜日 (祝日を除く) 11:00～16:00  毎月第3土曜日 13:00～15:00	患者による療養相談 当会ベテラン患者相談員が相談に応じま す。(電話・来所)  患者交流会(ぜんそく・アトピー性皮膚炎) (事前申込:必要)	認定 NPO 法人日本アレルギー 友の会事務所(都営新宿線・半 蔵門線住吉駅、JR 錦糸町駅よ り都バス「住吉駅前」下車徒歩3 分)	認定 NPO 法人 日本アレルギー 友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00～16:00) FAX 03-3634-0850 http://www.allergy.gr.jp/ E-mail:j-allergy@nifty.com
毎月第2土曜日 1月と8月はお休み 13:00～16:00 (月によって変更の場 合がありますので、 参加希望の方は エパレクHPをご覧ください)	学習会 熟練患者(EP)が中心となり、月に1回集ま って勉強や意見交換をする自主的な集まり です。当会で認定されたEPを中心とする先 輩患者が自分の闘病経験で得た自己管理 のコツを伝授したり、親身に後輩の悩みや 相談にのります。いつでも、どなたでもお気 軽にお出でください。(事前申込:不要)	主な会場:港区高輪コミュニテ ーぶらざ内3階 高輪区民セン ター 地下鉄南北線・三田線「白金高 輪」駅下車、1番出口 (駅の真上です)	NPO 法人 環境汚染等から呼吸 器病患者を守る会(通称:エパレ ク)事務局 http://eparec.org/ E-mail:eparec@nifty.com TEL 03-6272-9413 FAX 03-6272-9414
毎月第4火曜日(祝日 も開催) 10:00～12:00	アレルギー相談・患者交流会 「ちょっと chat の会」 どなたでもお気軽に。出入り自由です。 (事前申込:不要)	かながわ県民センター 12階セ ルフヘルプ相談室1 (「横浜」駅西口徒歩5分 横浜 市鶴屋町2-24-2) TEL045-312-1121(内 3221) FAX 相談 045-312-6307	NPO 法人アレルギーを考える母 の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp
毎月1回 9:30～11:30 隔月開催 10:00～12:00 不定期開催 【開催日等は、HPで お知らせしています】	しゃべり場／自由が丘  しゃべり場／八王子  出張しゃべり場:5人集まれば、どこでも 開催、共催(患者会／学校／保健所等) 入退場は自由。初歩的質問、大歓迎です。	目黒区緑ヶ丘文化会館第2研 修室(部屋の変更あり) 八王子市民活動支援センター  主催共催など、ご希望の方法、 場所、時間、対象で開催してい ます。お気軽に相談下さい。	NPO 法人アレルギー児を支える 全国ネット「アラジーポット」 http://www.allergypot.net E-mail:info@allergypot.net TEL 090-4728-5421

## 8. 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会（日本アレルギー学会と同関連学会）（2014年1月～7月）

以下は一般社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2013年12月号（62巻12号）1653-1664頁、会報「専門医制度情報 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定（2014年・国内）」およびインターネット同学会公式サイト「一般社団法人日本アレルギー学会：専門医制度に係わる各種開催案内」より1月～7月の日本アレルギー学会と同関連学会（\*）のみを抜粋して掲載した。

回	会名	会期	会場	担当施設・連絡先	会長・TEL
32 *	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2月6日(木)～8日(土)	ホテルクレメント徳島	徳島大学大学院耳鼻咽喉科学分野 第32回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会運営事務局〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15	武田憲昭
58 *	日本リウマチ学会総会・学術集会	4月24日(木)～26日(土)	グランドプリンスホテル新高輪 国際館 パミール	JCR2014 サポート準備室 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-11-12 Floor and Walls Hacchobori 3階 株式会社ウィアライブ コンベンション事業部内	高崎芳成
54 *	日本呼吸器学会学術講演会	4月25日(金)～27日(日)	大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル	一般社団法人 日本呼吸器学会内 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目28番8号日内会館7階 TEL:03-5805-3560 FAX:03-5805-3554	河野修興
26 *	日本アレルギー学会春季臨床大会	5月9日(金)～11日(日)	国立京都国際会館	福井大学医学部病態制御医学講座 小児科学 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3	眞弓光文 0776-61-3111
45 *	日本アレルギー学会専門医教育セミナー	5月11日(日) 13:30～16:45	国立京都国際会館	一般社団法人日本アレルギー学会 〒110-0005 東京都台東区上野1-13-3	03-5807-1701
31 *	日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	6月28日(土)～29日(日)	名古屋国際会議場	あいち小児保健医療総合センター アレルギー科 〒474-8710 愛知県大府市森岡町尾坂田1-2	伊藤浩明
45 *	日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会	6月28日(土)～29日(日)	福岡県医師会館	国立病院機構 福岡病院 研修・情報センター内 〒811-1394 福岡市南区屋形原4-39-1 TEL:092-565-5534 (内272) 事務局長:押川千恵	岸川禮子
24	国際喘息学会日本・北アジア部会～「喘息治療の新たな地平を切り開く」～	7月18日(金)～19日(土)	ウインクあいち 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL:052-571-6131 FAX:052-571-6132	藤田保健衛生大学坂文種報徳會 病院小児科 〒454-8509 名古屋市中川区尾頭橋3-6-10 TEL:052-323-5649 FAX:052-323-5776	宇理須厚雄

（当行事は、まだ上記両資料に掲載されていないが同学会支部会のホームページに公表されている国際学会であるので、特にここに記載した）

## 9. 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会

(当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2014年1月～7月)

以下は一般社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2013年12月号(61巻12号)1653-1664頁、会報「専門医制度情報 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定(2014年・国内)」およびインターネット同学会公式サイト「一般社団法人日本アレルギー学会：専門医制度に係わる各種開催案内」より関東支部地域の1月～7月分を抜粋して転載した。(日本アレルギー学会と同関連学会は上記8項に記載した)

回	会名	会期	会場	担当施設・連絡先	会長・TEL
19	アレルギー臨床懇話会	1月16日(木) 19:30～21:00	(独)国立成育医療 研究センター1階講 堂	(独)国立成育医療研究センタ ーアレルギー科 成田雅美 〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1 TEL:03-3416-0181	大矢幸弘 03-3416-0181
64	関東耳鼻咽喉科アレルギー懇話 会	1月19日(日) 14:00～16:45	日本教育会館9階 「平安の間」(東京)	日本医科大学耳鼻咽喉科 〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5	大久保公裕 03-3822-2131 (代表)
12	アレルギー性鼻炎フォーラム 2014	1月25日(土) 16:00～18:00	ホテルニューオータ ニ ザ・メイン 「鶴西の間」	日本臨床アレルギー研究所 〒105-0004 東京都港区新橋 2-16-1-318	奥田 稔 03-3591-5464
14	食物アレルギー研究会	1月26日(日) 9:30～17:30	昭和大学上條講堂	食物アレルギー研究会事務局 林/杉崎 〒252-0392 神奈川県相模原市南 区桜台 18-1 国立病院機構相模 原病院臨床研究センター TEL:042-742-8311 (代表)	河野陽一(独立 行政法人労働者 健康福祉機構千 葉労災病院)
22	関東アレルギークラブ	2月1日(土) 15:00～18:00	イノホール&カンフ ァレンスセンター	帝京大学医学部呼吸器・アレル ギー内科〒173-8605 東京都板橋 区加賀 2-11-1	山口正雄 03-3964-1211
22	長野県気管支喘息研究会	2月1日(土) 15:30～18:00	ホテル翔峰 2階コンベンション ルーム	信州大学医学部保健学科 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1	藤本圭作 0263-37-2393
	リウマチ・アレルギーシンポジウ ム	2月1日(土) 13:00～16:00	津田塾ホール(東京)	(一財)日本予防医学協会 〒135-0001 東京都江東区毛利 1-19-10	理事長 神代雅晴 03-3635-1056
16	神奈川吸入療法研究会	2月8日(土) 16:00～19:00	ローズホテル横浜	(独)国立病院機構相模原病院 〒252-0315 神奈川県相模原市南 区桜台 18-1	秋山一男 042-742-8311
18	小児免疫リウマチ研究会	2月14日(金) 19:00～21:00	八重洲富士屋ホテル	(未定)	(未定)
43	埼玉喘息・アレルギー研究会	2月15日(土) 14:40～18:25	埼玉県民健康セン ター 2階大ホール	埼玉医科大学病院呼吸器内科〒 350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町 毛呂本郷 38	(世話人) 金澤 實 049-276-1319
26	城東地区小児アレルギー懇話会	2月15日(土) 17:00～18:40	浅草ビューホテル	(未定)	(未定)
5	横浜環境アレルギー研究会	2月18日(火) 19:00～21:00	ホテルプラム	横浜市みなと赤十字病院アレル ギーセンター 〒231-8682 神奈川県横浜市中区 新山下 3-12-1	中村陽一 045-628-6381
12	横浜小児アレルギー研究会	2月19日(水) 19:00～21:00	崎陽軒本店	神奈川県立こども医療センター 〒232-8555 神奈川県横浜市中区 六ツ川 2-138-4	栗原和幸 045-711-2351

7	きよせ吸入療法研究会	2月20日(木) 19:00~21:00	清瀬けやきホール	結核予防会複十字病院呼吸器内科 早乙女幹朗 〒204-8522 東京都清瀬市松山3-1-24	庄司俊輔 042-491-4111
10	埼玉アレルギー性鼻炎フォーラム	2月20日(木) 18:50~21:10	浦和ロイヤルパインズホテル	自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科 〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847	飯野ゆき子 048-647-2111
38	吸入療法研究会	2月22日(土) 13:00~18:00	サンケイホール	東北大学病院呼吸器内科 〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1	田村 弦 022-717-8539
12	埼玉アレルギー研究会	2月26日(水) 19:00~21:10	サンシティホール 視聴覚室	獨協医科大学越谷病院耳鼻咽喉科 〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷2-1-50	田中康広 048-965-1111
4	SAITAMA ALLERGY WORKSHOP	2月27日(木) 18:35~20:50	川越プリンスホテル 3階	埼玉医科大学呼吸器内科アレルギーセンター 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38	永田 真 049-276-1319
34	多摩小児アレルギー臨床懇話会	3月8日(土) 15:00 ~ 19:00 (予定)	日本医科大学附属多摩永山病院C棟2階 集会室	山口小児クリニック 〒195-0063 東京都町田市野津田町1364 TEL:042-736-1121	飛田正俊 042-355-8505
67	横浜市アレルギー懇話会	3月12日(水) 19:00~	横浜崎陽軒本店	横浜市立大学大学院環境免疫病態皮膚科学 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9	相原道子 045-787-2800 (代)
3	Allergic Night	3月13日(木) 19:00~21:00	庭のホテル(東京水道橋)	順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1	三輪正人 03-5802-1229
79	小児アレルギー同好会	3月15日(土) 16:00~18:15	ホテルグランドパレス	筑波メディカルセンター病院小児科 〒305-8558 茨城県つくば市天久保1-3-1	市川邦夫 029-851-3511
26	東京城南喘息・アレルギー研究会	3月20日(木) 19:00~21:00	目黒雅叙園4階「飛鳥」	呼吸器・アレルギー疾患研究所 〒107-0062 東京都港区南青山1-3-1 パークアクシス青山一丁目タワー2106 TEL 03-6804-2671	足立 満 斎藤博久
11	丹沢小児アレルギー・免疫勉強会	3月22日(土) 16:30~18:00	厚木アーバンホテル 2階「ベルモバン」	おのぼり小児科アレルギー科クリニック 〒259-1144 神奈川県伊勢原市池端182-1	尾登 誠 0463-92-8080
7	東京呼吸器・アレルギーカンファランス	3月27日(木) 19:15~21:00	ホテルメトロポリタン池袋	日本大学医学部呼吸器内科学分野 〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1 TEL:03-3972-8111 (内線2402)	大田 健
12	城南小児アレルギー懇話会	3月(未定) 19:15~21:00	目黒雅叙園	〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8	板橋家頭夫 03-3784-8565
40	耳鼻咽喉科アレルギー懇話会	5月8日(日)	(未定)	日本臨床アレルギー研究所 〒105-0004 東京都港区西新橋2-16-1-318	奥田 稔 03-3591-5464
5	Airway Club Tokyo	5月29日 19:00~21:00	京王プラザホテル	順天堂大学耳鼻咽喉科学講座 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 TEL:03-5802-1229	三輪正人 03-5802-1229

39	吸入療法研究会	6月7日(土) 13:00~18:00	東京駅周辺会場(未 定)	東北大学病院呼吸器内科 〒980-8574 宮城県仙台市青葉区 星陵町1-1	田村 弦 022-717-8539
16	信州喘息・COPD Management Forum	6月14日(土) 18:00~20:00	ホテルメトロポリタ ン長野	長野県厚生農業協同組合連合会 長野松代総合病院〒381-1231 長 野県長野市松代町松代183	宮原隆成 026-278-2031
40	臨床アレルギー懇話会	6月頃(予定) 18:30~20:00	東京慈恵会医科大学	東京慈恵会医科大学〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18	中川秀己 03-3433-1111
35	日本炎症・再生医学会 (第1回日本骨免疫会議と同時 開催)	7月1日(火) ~4日(金) (7月4日(金) ~5日(土)同 時期開催)	万国津梁館(沖縄)	東京大学大学院医学系研究科免 疫学〒113-0033 東京都文京区本 郷7-3-1	高柳 広 03-5841-3373
19	日本ラテックスアレルギー研究 会	7月27日(日)	未定	国際医療福祉大学三田病院 TEL:03-3451-8121(代)	北林 耐

#### 10. 公益財団法人日本アレルギー協会理事、監事、評議員(平成25年6月7日現在)

	<b>理事長</b> 宮本 昭正		
北海道	<b>理事</b> 有賀 正 (支部長)		<b>評議員</b> 高橋 裕樹
東北	同 山内 広平(支部長)、田村 弦		同 高梨 信吾、棟方 充
北関東	同 土橋 邦生(支部長)		同 鈴木 栄一
関東	同 伊藤 幸治(支部長) 秋山 一男、足立 満		同 大久保公裕、大田 健 岡本 美孝、西牟田敏之
東海	同 高木 健三(支部長)		同 近藤 直実
北陸	同 眞弓 光文(支部長)		同 藤村 政樹
関西	同 東田 有智(支部長)、川瀬 一郎		同 末廣 豊、竹中 洋
中国	同 宗田 良 (支部長)		同 秀 道広
四国	同 西岡 安彦(支部長)		同 大串 文隆
九州	同 西間 三馨(支部長)		同 久保 千春
本部	同 今村 聡、松尾 紀彦		
	<b>監事</b> 岩本 逸夫、佐野 靖之		

## 11. 平成25年度 関東支部評議員会議事録

1. 日時 平成25年7月31日(水) 18時30分から20時

2. 場所 LEVEL XXI 東京會館 オリオンルーム

3. 出席者

支部長 伊藤 幸治

評議員 秋山 一男 岩本 逸夫 大久保 公裕 岡本 美孝

齋藤 博久 坂本 芳雄 佐野 靖之 西牟田 敏之

藤本 圭作 森田 寛 山口 正雄

欠席者 16名 うち委任状あり9名

4. 議長 伊藤支部長

5. 評議員会成立

事務局から、評議員28名のうち12名の出席と委任状9通があり、過半数に達することから評議員会は成立するとの報告がされた。

6. 議事録署名人指名

伊藤支部長から、秋山先生と岩本先生が指名され、出席者に諮り承認された。

7. 議事

報告事項

① 理事会報告

伊藤支部長から、資料1に基づいて報告された。

② 災害時の対応、支援活動について

秋山評議員から、資料2に基づいて報告された。

審議事項

① 平成24年度事業概要報告

伊藤支部長から、資料3に基づいて報告された。

事業概要報告は、出席者に諮り承認された。

② 平成24年度決算報告

事務局から、資料4に基づいて報告された。

決算報告は、出席者に諮り承認された。

③ 平成25年度事業計画

伊藤支部長から、資料5に基づいて報告された。

事業計画は、出席者に諮り承認された。

④ 平成25年度収支予算計画

事務局から、資料6に基づいて報告された。

収支予算計画は、出席者に諮り承認された。

⑤ 平成25年度役割分担

伊藤支部長から、資料7に基づいて報告された。

役割分担は、出席者に諮り承認された。

⑥ 関東支部評議員(本部理事、監事、評議員を除く)改選の件

伊藤支部長から、資料8に基づいて報告された。

現在の正会員数の割合と地区運営に照らし合わせて役員数を30名にすることが伊藤支部長より提案され、検討されたうえで出席者に諮り承認された。

また、地区評議員の選挙に関し、各地区で選ぶか全体で選挙するかを検討があり、出席者の挙手により各地区で選挙することに決定された。

その他

① 平成24年度個人会員の状況

伊藤支部長から、資料9に基づいて報告された。

個人正会員の勧誘をより積極的に行うこととなり、まず各評議員の周りの専門医に積極的に声をかけて勧誘することに決定された。

② 日本アレルギー協会関東支部だよりの発行について

伊藤支部長から、資料10に基づいて報告された。

③ その他



- i) 各医療機関における治験の問題について、今後ますます厳密に行われることとなり、医療機関と協会との契約等についても見守っていく必要があることが提案され、検討された。
- ii) アレルギー週間行事等における各地区での呼称について、県、地区、地区ブロック等があり、「地区」に統一することで決定された。
- iii) 伊藤支部長より、大久保公裕先生のご好意で今秋に先生が主催される日本アレルギー学会秋季学術大会に対する同門会からの寄付金の入金先として関東支部の口座を利用していただいた（24年度収支決算書ご参照）事に感謝の辞があった。

以上、本日の議事について審議を終了し、伊藤支部長の挨拶をもって閉会した。

## 平成25年度収支予算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度から繰越	4,586,400	研究助成費	1,900,000
特定資産運用益	7,000	講習会費	
講習会収益		啓発活動費	170,000
受取寄附金	2,500,000	本部納付	
支部納金	610,000 (うち個人会員会費の10% 110,000)	支部運営費	1,577,500
雑収入	1,300	会議費	120,000
受取利息	1,300	旅費交通費	150,000
雑収入		通信運搬費	194,000
		消耗品費	125,000
		諸謝金	949,500
		雑費	39,000
合計	7,704,700	合計	3,647,500
		翌年度へ繰越	4,057,200

## 12. 平成25年度関東支部評議員県（地区）別業務分担表

県・地区	担当地区	地区別責任者 (研修責任者)	啓発活動委員会 (アレルギー週間地区別委員)	支部 JAANET 編 集委員
関東地区	関東全域			永田 真
東京都 中央・城東地区	千代田区、中央区、港区、文京区、 足立区、江戸川区、葛飾区、 江東区、墨田区	佐野 靖之	佐野 靖之 大久保公裕 久松 建一 森田 寛	森田 寛
東京都 城西・城南地区	大田区、渋谷区、品川区、新宿区、 杉並区、世田谷区、豊島区、 中野区、目黒区	足立 満	足立 満 斎藤 博久 坂本 芳雄	斎藤 博久
東京都 城北・多摩地区	荒川区、板橋区、北区、台東区、 練馬区、 東京 23 区以外の市町村	大田 健	大田 健 塩原 哲夫 眞野 健次 山口 正雄	山口 正雄
埼玉県	埼玉県全域	永田 真	永田 真 飯野ゆき子 鈴木 直仁	倉島 一喜
千葉県	千葉県全域	西牟田敏之	西牟田敏之 岩本 逸夫 岡本 美孝 河野 陽一 富岡 玖夫 中島 裕史	岩本 逸夫
神奈川県	神奈川県全域	秋山 一男	秋山 一男 池澤 善郎 海老澤元宏 栗原 和幸	長谷川眞紀
山梨県	山梨県全域	増山 敬祐	増山 敬祐	松崎 全成
長野県	長野県全域	花岡 正幸	花岡 正幸 藤本 圭作	藤本 圭作

## 13. 平成25年度関東支部評議員業務分担表

学術講習委員会	研究助成委員会		関東支部だより編集委 員会	庶務・会計
	委員会	審査部会		
◎ 富岡 玖夫	◎ 秋山 一男	◎ 秋山 一男	伊藤 幸治	斎藤 博久
○ 足立 満	○ 岡本 美孝	○ 岡本 美孝	山口 正雄	
秋山 一男	足立 満	足立 満		
坂本 芳雄	伊藤 幸治	伊藤 幸治		
佐野 靖之	大田 健	河野 陽一		
塩原 哲夫	栗原 和幸	富岡 玖夫		
鈴木 直仁	河野 陽一			
増山 敬祐	富岡 玖夫			
	森田 寛			
	山口 正雄			